



ORIGINAL	FINALIZED
~SDGs×CORUNUM~	~SDGs×CORUNUM~
学生団体CORUNUMでは様々なプロジェクトを通して、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」の達成に取り組んでいます。	The student organization CORUNUM is working towards the Sustainable Development Goals (SDGs) adopted by United Nations in 2015 through our various projects.
<b>8. 働きがいも経済成長も</b>	<b>8. Decent Work and Economic Growth</b>
8.5 若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	8.5 Achieve full and productive employment and decent work for all women and men, including for young people and persons with disabilities, and equal pay for work of equal value.
8.6 就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。	8.6 Substantially reduce the proportion of youth not in employment, education or training.
<b>内容詳細</b>	<b>Details</b>
学生団体CORUNUMは、障がいのある方、及び発展途上国の子ども達が描いたアート作品及び創作活動を通じ、アーティストが正当な評価を得た上で、経済的対価を手にする事ができる仕組みをつくり、	Through the creation of artworks and creative activities by children with disabilities and children from developing countries, we can create a process where their artworks receive fair valuations and where they can receive financial compensation.

# JAPNI35C プロフェッショナル日本語

## 「子供に未来を、子供に希望を」



カリフォルニア大学サンディエゴ校

春学期 (2021 年)

## クラスの概要（英語）

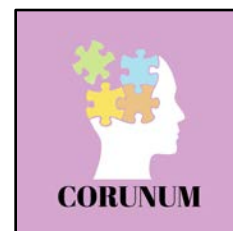
Beginning in the Winter Quarter of 2021, our class has been working in teams to discuss various Japanese and worldwide social issues in order to come up with a theme for realistic, effective projects in the Spring. We considered several important issues such as plastic waste and gender inequality, but in the end, “Children’s Future, Children’s Hope” won the vote. With our theme decided, we began Spring quarter by discussing possible projects.



First, we thought about what the San Diego community could do to fit our broad theme of bringing hope to children. The United States has a youth mentoring program called “Big Brothers Big Sisters (<https://www.bbbs.org/>),” so we wondered if we could do something similar using Japanese. Since Japanese kids are also stuck at home due to the COVID-19 pandemic, we thought we could create our own mentorship program by writing “pen pal” letters to homebound Japanese middle school students in order to support them and help them with their personal issues.



After that, we found out about a Japanese college student group called CORUNUM. This group creates commercial goods based on artwork created by disabled Tanzanian children and returns the profits to them, as well as supporting children through numerous activities in Japan. We contacted CORUNUM (<https://cor-unum.org/>) and asked how we could help them in their efforts. We were even able to study professional Japanese correspondence via the email chain between our professor and CORUNUM’s leader, Ariyama-san.



Before long, we had two new projects: translating CORUNUM’s website into English and holding online events to support Japanese students. Through these projects, we were able to use our language skills to tackle a number of projects which all shared the important, meaningful goal of “Children’s Future, Children’s Hope.” Developing our Japanese skills while contributing to realistic projects is what “Japanese for Professional Purposes” is all about.

## クラスの概要（日本語）

2021年の冬から、世界や日本での社会問題を話し合いグループに分かれて課題解決の方法やプロジェクト企画を考えてきました。プラスチックの廃棄などに関する環境問題やジェンダー平等に関する企画などがありましたが、クラス投票の結果、すべての子供に平和と公正を届けたいという願いから生まれた「子供に未来を、子供に希望を」というテーマが選ばれました。そのため、春学期はこのテーマでどのような活動ができるのか話し合いからスタートしました。



まず、大きな目的を「子供に希望を与えること」として、そのためにサンディエゴ・コミュニティーで何が出来るかを考えました。アメリカには Big Brother, Big Sister Project (<https://www.bbbs.org/>) という組織がありますが、日本語を使って似たような活動ができないか考えてみました。パンデミック中なので自宅にいながらできる方法で、子供に希望が与えられることを話し合った結果、サンディエゴにある日本語補修校の中学生と私たち大学生がメンター制度を作って、手紙のやりとりを行うという案が出ました。

それから日本の学生団体で作られている CORUNUM (<https://cor-unum.org/>) というウェブサイトを見つけ、タンザニアの子供の絵をアートとして売り、収益をその子供に還元したり日本国内の子供たちを支援する活動を行っているグループと連絡を取りました。私たち大学生もメンバーとして何かできることがないかと相談し、ウェブサイトを英語翻訳するお手伝いやブログの執筆、さらに国内で学校に行けない子供たちと言語交流会を行うという機会を頂きました。

以下に、それぞれの活動を報告します。日本語を使って大切な思い出を作って楽しんで夢に進む、それは「プロフェッショナル日本語」のクラスです。～アリエル



## 活動報告



### 1) 中学生と大学生のメンタープロジェクト『ペンパル』

アメリカにある Big Brother, Big Sister Project というメンター制度の応用として中学生と大学生の「ペンパル」を行いました。現在私たちは「子供に未来を、子供に希望を」というテーマで活動しています。子供はよく学習環境、家庭環境、進学、アイデンティティー、人間関係についての悩みや不安がありますが、相談できる相手がなかなかいない場合が多そうです。以前私たちは現在の中学生と高校生と同じ悩みを経験しましたから、子供にとって勉強や進路が相談しやすい、または相応しい相手になれるだろうと考えました。そして、サンディエゴではこのような相談を日本語でできる機会が減多にありませんから、サンディエゴでのこくご学園の中学部の生徒さんと手紙交換というプロジェクトをすることになりました。このプロジェクトは11人の大学生が11人の中学生と三回ずつメールのやり取りをし合計六回、子供たちと楽しく話したり、相談しやすい雰囲気を作ったりしました。



#### <参加した学生の感想>

- 「コロナの影響で他の人に話せる機会が少なくなっており、中学生と知り合って話すことができ楽しかったです。その上、日本語でプロフェッショナルメールを書く事を学びました。」（彩香）
- 「今学期のペンパルプロジェクトはユニークな経験で、すごく楽しかったと思います。私のペンパルは中学1年生なので、ペンパルさんは私に一番好きな漫画とかゲームなどをシェアしました。それにそのプロジェクトで日常的な日本語が練習できたので、嬉しいです。」（スティーブン）
- 「小学生の時、今学期のペンパルみたいな活動を先輩たちとしましたが、今回私たちが先輩になるという経験をしました。だから、私たち大学生は人生の先輩として子供たちを安心させたかったです。そして、日常をシェアすることで、年に関係なくつながることが出来たと思います。」（ウィリアム）
- 「中学生との活動のおかげで、クラスの間私たちの選んだ目的に取り組む続けることができました。そして、ペンパルの活動を通して中学生の生き方や相談を聞いたり、アドバイスをしたりして、中学生の役に立つことができました。」（ジェーソン）



## 2) 日本の学生団体との共同プロジェクト紹介

私達 UCSD 日本語 135C の学生は子供に希望を与えるというテーマでどんな活動ができるのか話し合いを続けていました。そこで CORUNUM という学生団体がボランティアを募集している広告を見つけ、私達の目的と似ている実現的な活動だとわかりました。そこで CORUNUM の代表の方とメール交換をし、クラス全員で日本とビデオ会議をしました。代表の方から提案して頂いた活動として、「子供支援の活動」と「翻訳業務」がありました。

### A. 子供支援チームの活動

CORUNUM の代表から、児童発達支援を行う施設を紹介していただき、言語交流会と題して日本の子供たちに外国のことや外国語を紹介するイベントを行いました。対面では緊張してあまりお話ができないお子さんや学校に通えないお子さんに対して絵本の読み聞かせを行いました。

#### <第一回目 言語交流会>

「はらぺこ青虫」英語と日本語の読み聞かせ

The collage consists of several panels:

- Top Left:** A title slide for "言語交流会" (Language Exchange) dated 2021年5月14日 (金) 10:30am-11:30am. It features flags for Japan, USA, South Korea, Taiwan, and China with their respective greetings: "こんにちは!", "Hello!", "안녕하세요!", "你好!", and "你好!". A cartoon caterpillar says "世界は広い!" (The world is wide!). A table of contents lists: 1. サンディエゴの紹介 (5分), 2. 自己紹介 (20分) (with sub-points for students and participants), 3. 絵本 (はらぺこ青虫) (20分), 4. 感想、Q&A、挨拶 (5分). Total time: 50分.
- Top Right:** A grid of 15 video call windows showing participants from various locations.
- Bottom Left:** A map titled "アメリカはどこ? サンディエゴってなに?" (Where is America? What is San Diego?). It shows the USA with San Diego highlighted and a world map with an arrow from Japan to San Diego. Text below says: "サンディエゴはアメリカにある都市だよ 東京からサンディエゴまで飛行機で10-11時間かかるよ!" (San Diego is a city in America. It takes 10-11 hours by plane from Tokyo to San Diego!). A small photo of a beach is labeled "ビーチがきれい!" (The beach is beautiful!).
- Bottom Right:** A page from a book titled "In the light of the moon a little egg lay on a leaf." It features a drawing of a green leaf with a small white egg on it. A text box says: "おや、葉っぱの上にちいさな卵をお月様が空から見えました。" (Oh, I saw a small egg on the leaf from the moon in the sky).

## <第二回目 言語交流会>

「七夕物語」中国語と日本語の読み聞かせ

**第二回 言語交流会**

目次 (Table of Contents)

- 自己紹介 (15分)  
名前 & 好きな日本のアニメ (3つまで)
- 絵本「七夕物語」中国語 & 日本語 (15分)
- 中国と日本の七夕について (5分)
- お話しタイム (20分)  
大学やサンディエゴの観光地の紹介  
ソラルのみなさんの日常生活紹介  
おわかれ、ごあいさつ (5分)

合計: 60分

**自己紹介タイム**

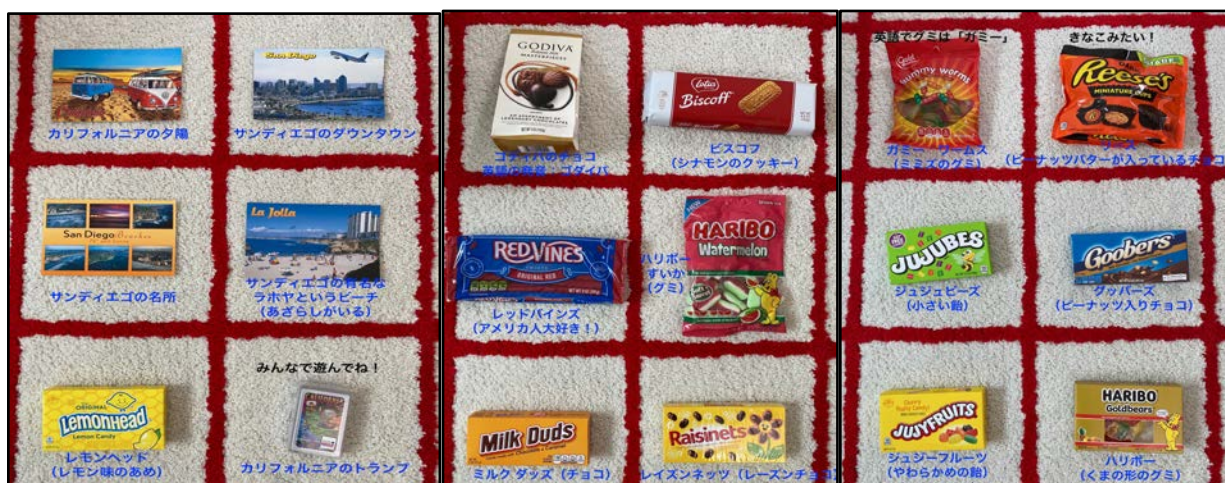
大学生	ソラルのみんな
名前	名前
好きなアニメ (あるいは、好きな日本のもの)	好きなアニメ・漫画

その神様に織り姫という美しい娘がいました。  
織り姫は大変働き者でした。  
毎日朝から晩まではたをおっています。



## <サンディエゴからカードやお菓子のプレゼント>

交流会でアメリカのことを少し知ってもらったので、アメリカで売られているお菓子を子供たちに届けました。施設では「お菓子のカルタをして遊びました」とご報告を頂きました。お菓子の名前を支援者の方が読み上げて、子供たちは当てたら食べる、という活動をしてくださったそうです。「ものすごい集中力でした!」と教えてくれました。



<参加してくださった方々からの声>

### 第一回目の交流会後

- 「日本語を学ぶ大学生と日本の小、中学生の共通の話題が見つかったり一緒にゲームをしたり、ネイティブな英語を聞く機会が無いので、リアルな発音を聞いたり出来て良かったです！」
- 「日本でもよく知られた絵本が、アメリカの学生さんの手元にあるとか、同じアニメをととても好きなことが伝わってきたことなど、リアリティがあるのが興味深かったです。対応がとてもフレンドリーで心地良かったです。」
- 「クイズをいれて飽きないように工夫をしてくださったのがよかったです。知っている英語もたくさんあり、子どもたちは聞き取れたことがうれしそうでした。」
- 「いつも、初対面の人とは一言も話せない子どもがみなさんとのオンライン交流では自己紹介ができていました。不安や緊張の強い子どもにとって、リアルで初対面の方と会うハードルは非常に高いのですが、オンラインで先にお会いすることで「素」の自分がだせたり、緊張を軽減できたり、コロナで仕方なくオンライン。ではなく、オンラインだからこそできる支援の可能性を感じました。」



### 第二回目の交流会後

- 「はじめて中国語の読み聞かせをききました。七夕が中国ではバレンタイン！というのはおもしろかったです。」
- 「もっといろいろな国の言葉や文化、絵本などをきいてみたいとおもうようになりました。」
- 「絵本を読んでもらえて良かった。みんなと話し合いができてよかった。司会進行の方がとても丁寧に個人個人を拾いあげてくれたので、とても助かりました。」
- 「前回よりも、双方向でやりとりがすすんだことがよかったなあとおもいました。日本で普段すごしていると、一度にたくさんの文化にふれる機会はありません、こうして、みなさんと話せるだけでも「外国」→日本以外はみな「外」という意識が変わっていくような気がしました。インクルーシブであることと、多文化を受け止めることは根底でつながっているのだとあらためて感じる機会となりました。ありがとうございました。」

## B. 翻訳チームの活動

このクラスではプロジェクトの目標を達成するために日本語の全てのモダリティーも練習できます。「現実的なプロジェクト」を遠隔でするのは大変ですが、この春私たちがお手伝いさせて頂いたことに CORUNUM のウェブサイトの翻訳業務とブログ執筆がありました。

カリフォルニア大学サンディエゴ校には、色々な背景を持った学生がいます。CORUNUM の目指している価値観と似ていて、私たちウェブサイト翻訳チーム5名も多様性に溢れています。チームメンバーの日本語能力が違うので、最初に皆を適切な担当に分けた後で、協力してウェブサイトを翻訳しました。

英語の翻訳はアメリカの大学生にとって簡単だと思うかもしれませんが、いいえ、実は英語の翻訳が一番難しいです。日本語から自然な英語を作ることは意外に大変です。でも、私たちは翻訳を通して、本当に言語能力が上がったという感覚がありました。

メインページ (1)	<a href="https://cor-unum.org/">https://cor-unum.org/</a>
ABOUT US (2)	<a href="https://cor-unum.org/about-us/">https://cor-unum.org/about-us/</a>
SDGs	
概念 (3)	
世界の動き (4)	
日本の動き (5)	
日本企業の取り組み (6)	<a href="https://cor-unum.org/about-us/sdgs/">https://cor-unum.org/about-us/sdgs/</a>
団体の取り組み	
	8(7)
	9(8)
	10(9)
プロジェクト	
アート(10)	
療育(11)	
協働事業(12)	<a href="https://cor-unum.org/course/">https://cor-unum.org/course/</a>
アーティスト(13)	
ギャラリー(14)	
ショッピング(15)	
お問い合わせ(16)	<a href="https://cor-unum.org/contact/">https://cor-unum.org/contact/</a>
応募様式(17)	<a href="https://cor-unum.org/application/">https://cor-unum.org/application/</a>

ORIGINAL	FINALIZED	ORIGINAL	FINALIZED
~SDGs+CORUNUM~ 学生団体CORUNUMでは様々なプロジェクトを通して、2019年に国連で採択された「持続可能な開発目標」の達成に取り組んでいます。	~SDGs+CORUNUM~ The student organization CORUNUM is working towards the Sustainable Development Goals (SDGs) adopted by United Nations in 2019 through our various projects.	全ての子ども達に「できた」「すごい」の体験を!! ◆教室から世界へ飛び出す!	Giving Kids the Experience of "I did it!" and "Wow!" Leap from the classroom and into the world!!
8.働きがいも経済成長も 8.5若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事。並びに同一労働同一賃金を達成する。	8. Decent Work and Economic Growth 8.5 Achieve full and productive employment and decent work for all women and men, including for young people and persons with disabilities, and equal pay for work of equal value.	お絵かきが教室での掲示を超えて、世界中に発信されます。	These drawings will be able to leave the bounds of its classrooms, and will be transmitted all over the world.
8.8教育、科学及び職業訓練のいづれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。	8.8 Substantially reduce the proportion of youth not in employment, education or training.	世界の子ども達の「お絵かき」の隣に応募されたお子様の作品も並べられるので	The submitted works will be lined up next to all the drawings from children around the world.
内容詳細 学生団体CORUNUMは、障がいのある方、及び発展途上国の子ども達が描いたアート作品及び制作活動を通して、アーティストが公正な評価を得た上で、経済的対価を手にすることができる仕組みをつくります。	Details Through the creation of artworks and creative activities by children with disabilities and children from developing countries, we can create a process where their artworks receive fair valuations and where they can receive financial compensation.	◆いつもお絵かきが子ども!! ◆商品化や出展の有無に関わらず、 ◆全ての作品は特別な写真集となって届けられます!	Not only is it a meaningful expression of diversity but also a fun and exciting experience for kids!  ◆Your artwork will be published in a booklet! Regardless of whether it is commercialized or exhibited, all the artwork will be added into special photobook and will be available for delivery!

CORUNUM のウェブサイトを翻訳することは、日本語の勉強のためだけではなく、CORUNUM のため、そして読者のために役に立っているという実感があり、大変楽しかったです。今回の翻訳の作業を通して、読者に役に立つウェブサイトを作って、チームと一緒に大切な思い出ができました。

ブログの執筆では、担当者が翻訳チームメンバーにインタビューをし、クラスの様子やメンバーの気持ちをレポートしました。ウェブサイトへの掲載が楽しみです!

### ブログ

みなさんこんにちは、CORUNUMのウェブサイト翻訳チームのアリエル・ロセントラルと申します。チームメイトと一緒にカリフォルニア大学サンディエゴ校で日本語を勉強しています。それで、「プロフェッショナル日本語」というクラスで、日本語を使って現実的なプロジェクトを実施するために頑張っています。この言語クラスでは、単語や文法のフォーカスではなくて、コミュニケーションの方法やプロジェクトの企画



## メンバーの紹介と感想

### ツイ

四年生です。歴史学と日本研究を勉強しています。東亜の歴史や文化に興味を持っているので、大学二年生の時、日本語の授業をとってみたいと思いました。日本語と東亜歴史を勉強したら、日本文化への興味がさらに深くなりました。将来の夢は国際関係を改善することです。留学の経験や専門的な知識をいかして、国際的な協力関係を作りたいと思います。



感想：今学期私が参加した子供支援チームは日本にいる子供やティーンエイジャーとオンラインで交流しました。絵本を読んだり、生活を紹介したり、会話をしたりしました。活動を通じて、世界の広さを教えたいと思いました。日本の方は私たちの生活に興味を持ってくれたし、私たちも新しいことを学びました。そのため、交流会は私たちにとっても、日本の方にとっても、いい経験になったと思います。活動を企画しながら、チームメイトからいろんなことも学びました。今学期の活動は終わりましたが「子供に未来を、子供に希望を」というテーマの活動を続けられると思います。私たちは優秀な先輩からインスパイアされるかもしれないので、自分をもっと優秀になったら、年下の子供にもいい影響を与えられると思います。

### デヴィン

日本学と中国学を専攻している五年生です。東アジアの歴史や文化を学ぶことはもちろん意義があるので興味をもって勉強していましたが、最初に大学に入学した時、大体外国語だけ、特に日本語を勉強したかったです。高校生の時にも、日本語とスペイン語と韓国語を全部同時に勉強してみたけど初めだけでした。2019年から去年まで中国と日本への留学の経験もして、今年で卒業します。これから、将来アメリカでも海外でもいい影響を与えられる歌手になる夢を持っています。



感想：今学期のプロジェクトとして「子供に未来を、子供に希望を」という目的がありました。具体的な活動ができるように日本大学生の組織と協力しました。クラスの中にグループが二つあり、私は「子供の支援」というグループに参加しました。小学生に対して様々な言語で絵本を読んであげることと楽しいゲームや発表も準備しておきました。その活動を通して、コロナウイルスに関係なく楽しいクラスがオンラインでもでき、日本以外にも面白い人や別の文化があることを伝えられたと思います。

## リー

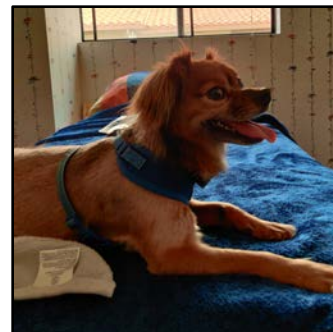
四年生です。専攻はパソコン工学で、副専攻は日本語です。日本語を勉強したきっかけはアニメです。子供の時から名探偵コナンを見ていて、高校に入学してから日本語の授業を取ってきました。日本語を勉強することで、前に理解できなかったコナンの放送が少しずつわかるようになっていくから、日本語を勉強するのはとても楽しいと思います。将来の夢は、日本語と英語の通訳をすることです。



感想：今学期の目的は「子供に未来を、子供に希望を」でした。私たちの子供の支援チームのイベントでは、日本の施設の子供や関係者に外国に対する興味を持ってもらったかもしれません。イベントのアンケートによると、「ネイティブな英語を聞く機会が無いので、リアルな発音を聞いたり出来て良かったです！」という意見があったし、サンディエゴや私たちの学校生活の質問もたくさんあったので、他の国や外国語が好きになりもっと勉強するきっかけになったかもしれません。

## ウィリアム

四年生です。専攻は日本学で、副専攻は演劇です。日本語を勉強している理由は、大学に来る前に私は料理人になりたかったからです。そして、その時の夢は日本に行って寿司の作り方を勉強したかったです。だから、大学に来て、専攻が物理学から日本学に変わりました。他の理由は、高校の頃から、アニメやマンガが好きで、いつも日本語を勉強したかったのですが、大学に来るまでできませんでした。



感想：今学期、私達は冬から勉強しているSDGsのトピックを一つ選んで、二つのプロンプトを作りました。一つ目はCORUNUMのウェブサイトを翻訳すること。二つ目は私が参加したの日本の子供たちために絵本を紹介するというプロンプトです。その子供たちは様々な理由から、学校になかなか行けません。その理由以外、昨年からのコロナウイルス状況は参加者の生徒たちだけでなく、世界中の人に難しすぎる感情を与えます。だから、私達は絵本紹介などを企画しました。生徒たちが好きなアニメやマンガ、歌手、ゲームなどは私達が好きなものと同じなので、繋がることができました。その絵本紹介以外、ペンパルの活動もできました。ペンパルで、私達はサンディエゴにいる日本語を話す中学生と毎週メールを送り合いました。手紙に個人的な内容で、関係がゆっくり作れました。この生徒達と絵本の参加者の子供達は他国の市民ですが、同じ問題や心配があります。そして私達も、同じように未来のことを心配していました。だから、二つの活動で「子供に未来を、子供に希望を」という今学期のテーマに沿った活動ができました。今学期は私の大学生活最後の学期ですが、これか

らもこのテーマを続ける活動ができます。例えば、図書館や学校でボランティアして、本読みや教えることができると思います。

## あやか

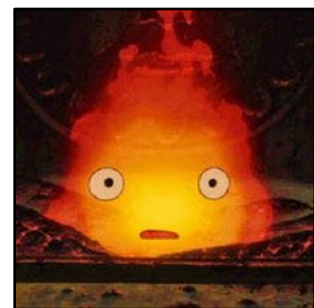
私は大学2年生のリン彩香です。専攻は数学・コンピューターサイエンスで、副専攻はビジネスとコンピューターエンジニアです。私の趣味は水泳とお菓子作りです。グアムで生まれ育ちましたが、私が通っていた水泳のチームやピアノのレッスンは日本語で習いました。小さい頃は、ドラえもんや名探偵コナンのアニメを見たり、漫画を読んで日本語を習いました。それに、幼稚園から二年生までグアムの日本人学校に、三年生から中学生まで補習校に通いました。大学生になってから、私は日本語をもう少し学びたいという気持ちがあり、プロフェッショナル日本語の授業を受けることになりました。



感想：今学期の授業の目的は「子供に未来、子供に希望」でした。最後の6週間はペンパル活動で、中学生と大学生の手紙交換をしました。コロナの影響で他の人に話せる機会が少なくなっており、中学生と知り合って話すことで目的につながった活動になったと思います。その上、私だけではなく、中学生の子供達も日本語でメールを書く事を学べたと思います。その他、CORUNUMという学生団体から頂いたホームページの翻訳業務を行いました。CORUNUMのゴールはタンザニアの子供達や障害がある子供たちを助けるので、私達がCORUNUMのウェブサイトを翻訳することで少しでもお手伝いになれば嬉しいです。このようなことは今後一人でも続けられる活動だと思います。

## タミ

モク・タミです。今はコンピューターサイエンスを専攻している四年生で21歳です。日本語の勉強を始めた理由は最初旅行のために簡単な日本語を覚えてきたただけですが、勉強すればするほど日言語を習うことが好きになりました。それから、副専攻を日本学にして、プロフェッショナル日本語の授業を受けることになりました。



感想：今学期は、こくご学園を通して、中学生とペンパル活動をすることになりました。その三回のメールのやり取りのおかげで中学生の相手と沢山の事について話せました。私は相手と学校や大学校のことについて話したから、生徒の相談相手として、子供の未来に対して抱いている不安や悩みの解決に少しは役立てたと思います。そして、翻訳チームにも参加しましたので、CORUNUMのウェブサイトを翻訳することで「子供に未来を、子供に希望を」という目的に近づけました。CORUNUMの目的の一つは「子供た

「この笑顔と未来のために」なので、CORUNUMを手伝ったことで私たちの活動目的も達成できたと思います。

これからも「子供に未来を、子供に希望を」というテーマで活動するには、ボランティアするのが相応しいと思います。コロナはまだ広がっていますが、できれば図書館で子供と絵本を読んだり、宿題を手伝ったりするのは一人でも簡単にできることだと思います。あとは、町のコミュニティセンターで子供と一緒に遊ぶ活動を作るとか、もう存在している活動、またはアクティビティーにボランティア参加すれば、子供の相談相手やロールモデルになれるかもしれません。

## スティーブン

四年生のスティーブン・ナポリタノです。専攻は国際政治学で、副専攻は日本学です。サンディエゴ出身ですが、2年間札幌に住んでいて、北海道大学で日本学を勉強しました。日本語の勉強を始めた理由は、中学生の時から日本の文化や歴史に興味があり、日本語を勉強したいという気持ちがあったからです。それに、私のおばあさんは日本人ですから、おばあさんの母語が話せるようになりたかったです。私の夢は日本にあるアメリカの大使館、または領事館で働くことです。



感想：今学期の活動は「子供に未来、子供に希望」という活動目的がありました。私たちの活動は、CORUNUMという日本の学生団体のホームページコンテンツ翻訳でした。CORUNUMは、途上国に住んでいる子供たちをサポートし、SDGsを達成するための取り組みを行なっています。この翻訳プロジェクトは、プロフェッショナル日本語の実践だけではなく、国際交流、そして子供たちに希望を与えることでもあったと思います。これからも「子供に未来を、子供に希望を」という理念の下、一人一人が力を合わせ、ボランティアを続けることはできるでしょう。例えば、学生はCORUNUMみたいな団体が作られるし、他のNPOでもボランティアできます。

## アンドレ

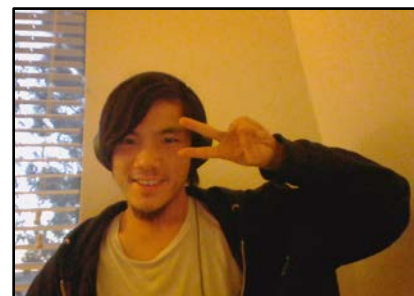
こんにちは！私はニューエン・アンドレです。大学三年生です。二十歳で三年間日本語を勉強しています。この専攻を選んだ理由は日本文化は面白いので、いつか住みたいと思ったからです。そして、私の夢は日本のゲームプログラマーになることです。子供の時に「ニンテンドー」、「セガ」など多くの日本のゲームを遊びました。だから、日本語を勉強し、日本に行き、働くつもりです。



感想：今学期でプロジェクトは終わり、活動目的を達成しました。私の感想は、このプロジェクトは面白いですがちょっと難しかったです。「子供に未来を、子供に希望を」という目的のために、CORUNUMのウェブサイトの翻訳プロジェクトをしました。CORUNUMは多くの国の子供に手伝える学生団体です。プロジェクトで私の責任はCORUNUMのウェブサイトの部分を英語に翻訳することでした。そして、グループメンバーと話し、彼らの翻訳をチェックし、最後の翻訳スクリプトを作りました。プロジェクトはちょっと難しかったです。他の英語を話す人のためにすごい英語の翻訳を作ったと思います。だから、他の英語を話す人は翻訳スクリプトを見て、私たちの目的とゴールを理解して、今後CORUNUMのプロジェクトに参加すると思います。

## アンドリュー

私はアンドリュー・グレン・トランです。3年生です。人間開発と日本文化を勉強しています。一年生の時に日本語に興味がありました。そして、日本語を勉強してみても面白いと思って日本文化は1つの専攻になりました。私の将来したいことがまだ分かりませんからまだ考えています。しかし、最終のゴールは、日本人のように日本語が話せるようになることです。趣味は料理とゲームです。



今学期私たちのプロジェクトはすごかったと思います。子供に絵本を読んであげたり、ペンパルをしたりしながら、私達は子供と一緒に楽しいアクティビティをしました。英語の絵本読み聞かせの目的は子供に色々な文化を伝えることでした。子供に他の文化を紹介することによって子どもたちに異文化への興味がでるかもしれません。違う文化に

興味を持っていれば、子供は将来より多い選択肢を持てると思いますので、「子供に未来を、子供に希望を」という活動目的につながったと思います。ペンパルも同じだと思います。私達は子供と手紙交換をし、外国人と話す機会を設けました。これは、他の文化を紹介することですので、結果は絵本の活動と同じです。

「子供に未来を、子供に希望を」のテーマを続けるために必要なことは、子供を教育することです。子供はこの世界の未来ですから、一人一人が色々なことを教えて選択肢をあげたらその子供は大人になる時に、他の子供を助けることができます。そして、この世界の未来ももっとよくなると思います。

## アリエル

アリエル・ロセントルです。アリと呼んでください。米空軍で6年間過ごし台湾で1年間で英語教師として働いた後でUCSDに入る為に出身のサンディエゴへ戻りました。日本学と公共政策の専門で5年の転校生です。2019年に、京都の同志社大学で留学した時に、日本で永久的に住む事を決めました。大学卒業後に輸送や労働者の権利などについて日本の公的機関で働きたいから「プロフェッショナル日本語」をとっています。将来、このクラスで学んだ日本語やスキルを使って、CORUNUMと同じような価値観を持つる組織で働きたいです。



今学期、授業は「子供に未来を、子供に希望を」のテーマでした。それで、子供をサポートする活動を行うことにしました。元教師だから創造性を育てる活動は生徒に特に大切だと思います。生徒は経験を伝える美しい芸術を作れるだけでなく、自分の芸術が特別で価値がある物だと学んでくれたら嬉しいです。生徒の重要な芸術を世界中の人に見せて、その収益を還元したら、子供達のコミュニティーがもっと強くなると思います。若者がアートを使って自分の世界を表現できたらもっと優しい社会を生み出すことができると思います。世界中の人がCORUNUMの子供画家の夢を理解するために、ウェブサイト翻訳するのは大変嬉しいことでした。

## チナ

劉知名（リュウ・チナ）です。大学四年生で生化学を専攻しています。日本語を勉強している理由は日本語を忘れないためです。私は10歳の時まで日本で住んでいたため日本語や日本の文化は私のアイデンティティの一部です。それを失いたく無い、と思ったことがこのクラスを取ったきっかけでした。今後日本と関係ある仕事につけばいいな、と思っていますが、正直日本だけにこだわる必要もないと思っています。夢は働きがいのある仕事を見つけてゆったりと過ごすことです。



今学期の目的は「子供に未来を、子供に希望を」で、私達はコロナ禍の中でもできる活動を考え実行しました。私はペンパル活動と子供支援チーム内の言語交流会を行いました。言語交流会では海を超えて共通の好きなアニメについて話し、同じ名前の人がいることなどにワクワクしているのが伝わりました。サンディエゴやUCSDに興味を持ってくれる人もいて、もっといろんなことを紹介する時間があつたらいいな、と思いました。ペンパルの相手は難しい悩みを抱えてはいないようでしたが、大学で少し悩んでいることや趣味について話し合いました。今後もこの活動目的を達成するために私たちは身近な子供達と関わりを持ってみたりボランティア活動に参加することができると思います。

## ジェyson

ジェyson・スタホーヴィアクです。3年生で、日本語を専攻しています。母側の家族は日本人ですので、子供の頃からずっと日本文化を経験して、そこから私の日本語・日本文化の興味が生まれました。高校を卒業した後で、大学の時に日本語を勉強したいと思いましたが、日本語を専攻するかどうかわかりませんでした。大学卒業の後の希望は日本語を自由に話せることで、未来の仕事は私の日本語を使えることです。



今学期は先学期に選んだSDG、「子供に未来を、希望を」という活動目的を取り組みました。私たちの活動をその目的につなげるために、二つの団体と活動をしました。一つ目はこくご学園に連絡して、日本語を話せる中学生に手紙を送ったり、もらったりするペンパルという活動でした。「子供に希望

を」として、中学生の生活、相談、最近困っていることなどを理解して、中学生たちに共感したり、アドバイス、サポートなどをすることでした。そして、二つ目は CORUNUM という大学生の団体との協力プロジェクトでした。ソラアルという施設の子供たちに絵本を読んであげました。日本語だけでなく、英語や中国語でも一緒に読みましたから、自分たちの言語の練習にもなりました。アンケートの結果によると、参加者の方は英語や中国語の自然な発音を聞いてよかったです。

## ウンジュ

今学期、武田先生の授業でボランティアさせて頂いたチェ・ウンジュです。今年の1月、サンディエゴに引っ越してきたばかりで、普段興味を持っていた外国語+教育というテーマで「やりがいのある仕事」を探していたところ、武田先生のクラスを見つけました！単に、言葉を習うのではなく、勉強している外国語を生かして人のためプロジェクトを行うという経験は、新鮮で自分自身にもとても勉強になるものでした。企画としてクラスを引っ張ってくださった先生、力を合わせてプロジェクトを3つ(!)もこなしてくれたクラス全員に拍手です。ありがとうございました！



## 武田泉

プロフェッショナル日本語の講師の武田です。毎年新しい学生と新しいプロジェクトをしています。今年の子供へ希望を与えるテーマで活動を考えました。日本にはメンター制度がありませんが、アメリカではよく耳にします。小さい頃からロールモデルがあるのはいいことですし、何でも悩みを話せる人がいるのは精神的にもありがたいことです。こくご学園の先生とペンパル活動が企画、実行できたことは素晴らしい経験になりました。また、日本の大学生と協働プロジェクトが出来たこと、そして千葉にあるソラアル様と言語交流会が出来たことも大変有意義で貴重な経験でした。私自身、たくさん学ぶことがあり、一緒に活動を考えた学生、そしてサポートしてくださったボランティアのウンジュさんにも感謝です！



<プロジェクトに関するお問い合わせ：[itakeda@ucsd.edu](mailto:itakeda@ucsd.edu)>